

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 糖尿病足病変・糖尿病腎症患者に対する理学療法効果の検証  
下肢慢性創傷患者に対する理学療法効果の検証

[当院研究責任者] 部署名 中央リハビリテーション部 氏名 井戸 和美

[研究の概要] この臨床研究は、日本理学療法士学会の倫理審査部会の承認を受けて日本糖尿病理学療法学会が実施するものです。

糖尿病患者さんでは神経障害、腎症、網膜症の糖尿病特有の合併症を持つ方が半数以上存在し、リハビリテーションを行う場合、糖尿病の病態に即した理学療法が必要とされています。しかし合併症を配慮した理学療法の確立には至っておらず体系化された関わりが求められています。そこで我々は、運動療法特有の効果を検証し、理学療法技術の体系化を図りたいと考えています。この研究は「下肢慢性創傷」、「腎症」、「透析」の3部門に分かれていて、当院では「下肢慢性創傷」を担当します。「下肢慢性創傷」とは、下肢に起こった数週間以上も治らない傷のことで、閉塞性動脈疾患に伴う潰瘍・糖尿病性潰瘍・壊疽等を指します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2015年1月から2018年2月の間に当院で下肢慢性創傷の治療目的にて入院し、加療を行った方

●研究期間： 倫理審査承認から2020年3月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：下肢慢性創傷の既往、治療対象創傷の形成原因、糖尿病神経障害の有無、下肢血行動態、創傷の面積・深さ・感染の重症度、入院時のADL、歩行能力、治療経過、入院中の理学療法、退院時の歩行能力、治療対象創傷の転帰、入院日数、退院先

●検体や情報の管理

情報は、研究代表者機関である日本理学療法協会にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。エクセルデータにはパスワードが設定されます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

- ・研究責任者：日本理学療法士学会 学会長 半田 一登

・共同研究施設（2018年3月12日現在，予定，順不同）：

<下肢慢性創傷>

大分岡病院，名古屋共立病院等

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加不参加の申し出や、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である日本理学療法士協会が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 中央リハビリテーション部 氏名 井戸 和美

電話 0561-82-5101